

球磨川流域(緊急対応)タイムライン詳細表【令和4年度試行運用版】(案)

：熊本地方気象台からの提供情報

段階	流域タイムラインの段階移行の基準			対応目標	市町村タイムラインの基本的な対応行動(骨子)	関係機関の対応行動					
	気象情報(気象台)	河川水位情報(国、県)	土砂災害情報(気象台、県)			国土交通省			熊本県		
						九州地方整備局	八代河川国道事務所	川辺川ダム砂防事務所	県庁	広域本部、地域振興局	市房ダム管理所
流域準備段階 (台風) 発災の5~3日前 (梅雨) 梅雨入り・1~2日前	<流域TL発動基準> □梅雨入り発表時(梅雨入りと同時に流域準備段階へ移行し継続する) □早期注意情報(警報級の可能性)で「中」以上が発表されたとき □府県気象情報第1号が発表されたとき □台風の5~3日先の予報円が九州付近を通過しており、流域に災害をもたらす可能性があると判断されたとき 【協議】 試行運用中は流域タイムラインWeb運用会議で意思決定する			流域TL発動		流域TL発動(流域準備段階)について内部周知	流域TL発動(流域準備段階)について内部周知	流域TL発動(流域準備段階)について内部周知	流域TL発動(流域準備段階)について内部周知	流域TL発動(流域準備段階)について内部周知	流域TL発動(流域準備段階)について内部周知
				気象情報の共有		気象台と情報共有	気象台と情報共有	気象台と情報共有	気象台と情報共有	気象台と情報共有	気象台と情報共有
				合同記者発表の実施(必要に応じて)	福岡管区気象台との合同記者発表の必要性について検討・協議 (必要と判断した場合) 福岡管区気象台と合同記者発表を実施	熊本地方気象台との合同記者発表の必要性について検討・協議 (必要と判断した場合) 熊本地方気象台と合同記者発表を実施(八代河川国道事務所または熊本地方気象台で実施)					
				大雨・台風説明会の実施	大雨・台風説明会の開催日時の連絡受け	大雨・台風説明会の開催日時の連絡受け	大雨・台風説明会の開催日時の連絡受け	大雨・台風説明会の開催日時の連絡受け	大雨・台風説明会の開催日時の連絡受け	大雨・台風説明会の開催日時の連絡受け	大雨・台風説明会の開催日時の連絡受け
				流域タイムラインWeb運用会議の開催	大雨・台風説明会への参加 (結果を機関内に周知)	大雨・台風説明会への参加 (結果を機関内に周知)	大雨・台風説明会への参加 (結果を機関内に周知)	大雨・台風説明会への参加 (結果を機関内に周知)	大雨・台風説明会への参加 (結果を機関内に周知)	大雨・台風説明会への参加 (結果を機関内に周知)	大雨・台風説明会への参加 (結果を機関内に周知)
	※報道は「災害報道連携会議Web臨時会議」と協働開催とする			流域タイムラインWeb運用会議の開催	流域タイムラインWeb運用会議の開催日時の受信	流域タイムラインWeb運用会議の必要性を検討 (必要な場合は、八代河川国道事務所へ開催依頼)	流域タイムラインWeb運用会議の必要性を検討 (必要な場合は、八代河川国道事務所へ開催依頼)	流域タイムラインWeb運用会議の必要性を検討 (必要な場合は、八代河川国道事務所へ開催依頼)	流域タイムラインWeb運用会議の必要性を検討 (必要な場合は、八代河川国道事務所へ開催依頼)	流域タイムラインWeb運用会議の必要性を検討 (必要な場合は、八代河川国道事務所へ開催依頼)	流域タイムラインWeb運用会議の必要性を検討 (必要な場合は、八代河川国道事務所へ開催依頼)
				メーリングリストによる情報共有	流域タイムラインWeb運用会議への参加(会議で以下の情報を提供) ◆九州地方管内の河川情報	流域タイムラインWeb運用会議への参加(会議で以下の情報を提供) ◆球磨川水系国管理区間の河川水位情報(今後の見込みなど)	流域タイムラインWeb運用会議への参加(会議で以下の情報を提供) ◆管内の土砂災害情報	流域タイムラインWeb運用会議への参加(会議で以下の情報を提供) ◆県管理河川の実況情報	流域タイムラインWeb運用会議への参加(会議で以下の情報を提供) ◆県管理河川の実況情報 ◆県管理道路の状況	流域タイムラインWeb運用会議への参加(会議で以下の情報を提供) ◆市房ダムの予備放流や事前放流の現状や今後の予定等	流域タイムラインWeb運用会議への参加(会議で以下の情報を提供) ◆市房ダムの予備放流や事前放流の現状や今後の予定等
				Webによる情報提供	各機関のHPIにて情報入手	インターネット(川の防災情報、水害リスク等)にてリアルタイム情報を提供	インターネット(早よ見なっせ球磨川等)にてリアルタイム情報を提供		熊本県統合型防災情報システムで気象情報、雨量・水位情報等を自動提供		熊本県統合型防災情報システムでダム貯水位、流入量、放流量等に関する情報を自動提供
				情報収集	気象・海象情報収集(降雨、台風進路、高潮情報の確認)	気象・海象情報収集(降雨、台風進路、高潮情報の確認)	防災情報(気象、降雨、水位、流量情報)の収集・記録・分析 八代市へ陸間連絡体制の確認 情報収集「管内情報(被害情報)の収集分析」	気象庁、消防庁から気象情報を入手	気象情報の把握		
				その他の対応	流域準備段階になったことを防災行政無線にて伝達(要確認)	マニュアル等の確認 災害に備えた各種準備		マニュアル等の確認	地誌資料、防災マップ等関係資料の再確認 マニュアル等の確認		

球磨川流域(緊急対応)タイムライン詳細表【令和4年度試行運用版】(案)

：熊本地方気象台からの提供情報

段階	流域タイムラインの段階移行の基準			対応目標	市町村タイムラインの基本的な対応行動(骨子)	関係機関の対応行動						
	気象情報(気象台)	河川水位情報(国、県)	土砂災害情報(気象台、県)			国土交通省			熊本県			
						九州地方整備局	八代河川国道事務所	川辺川ダム砂防事務所	県庁	広域本部、地域振興局	市房ダム管理所	
流域注意段階 発災の2~1日前	口球磨川流域内(管内)で、大雨・洪水注意報が発表されたとき			流域注意段階へ移行		流域注意段階への移行について内部周知	流域注意段階への移行について内部周知	流域注意段階への移行について内部周知	流域注意段階への移行について内部周知	流域注意段階への移行について内部周知	流域注意段階への移行について内部周知	
				合同記者発表の実施(必要に応じて)		福岡管区気象台との合同記者発表の必要性について検討・協議 (必要と判断した場合)福岡管区気象台と合同記者発表を実施	熊本地方気象台との合同記者発表の必要性について検討・協議 (必要と判断した場合)熊本地方気象台と合同記者発表を実施(八代河川国道事務所または熊本地方気象台で実施)					
				流域タイムラインWeb運用会議の開催		流域タイムラインWeb運用会議実施の必要性を検討	流域タイムラインWeb運用会議実施の必要性を検討	流域タイムラインWeb運用会議実施の必要性を検討	流域タイムラインWeb運用会議実施の必要性を検討	流域タイムラインWeb運用会議実施の必要性を検討	流域タイムラインWeb運用会議実施の必要性を検討	流域タイムラインWeb運用会議実施の必要性を検討
				※報道は「災害報道連携会議Web臨時会議」と協働開催とする		流域タイムラインWeb運用会議開催日時の受信	流域タイムラインWeb運用会議開催の有無、開催日時を決定し参加機関へ一斉メール	流域タイムラインWeb運用会議開催日時の受信	流域タイムラインWeb運用会議開催日時の受信	流域タイムラインWeb運用会議開催日時の受信	流域タイムラインWeb運用会議開催日時の受信	流域タイムラインWeb運用会議開催日時の受信
				流域タイムラインWeb運用会議への参加	流域タイムラインWeb運用会議への参加(会議で以下の情報を提供)	流域タイムラインWeb運用会議への参加(会議で以下の情報を提供)	流域タイムラインWeb運用会議への参加(会議で以下の情報を提供)	流域タイムラインWeb運用会議への参加(会議で以下の情報を提供)	流域タイムラインWeb運用会議への参加(会議で以下の情報を提供)	流域タイムラインWeb運用会議への参加(会議で以下の情報を提供)	流域タイムラインWeb運用会議への参加(会議で以下の情報を提供)	流域タイムラインWeb運用会議への参加(会議で以下の情報を提供)
					◆九州地方管内の河川情報	◆球磨川水系国管理区間の河川水位情報(今後の見込みなど)	◆管内の土砂災害情報	◆県管理河川の実況情報	◆県管理河川の実況情報	◆県管理河川の実況情報	◆市房ダムの予備放流や事前放流の現状や今後の予定等	◆市房ダムの予備放流や事前放流の現状や今後の予定等
				メーリングリストによる情報共有	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) 市町村タイムラインステージを連絡	必要に応じてメーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆九州地方管内の河川情報	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆球磨川水系国管理区間の河川水位情報(今後の見込みなど)	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆管内の土砂災害情報	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆県管理河川の実況情報	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆県管理河川の実況情報	◆市房ダムの予備放流や事前放流の現状や今後の予定等	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆市房ダムの予備放流や事前放流の現状や今後の予定等
				Webによる情報提供	各機関のHPにて情報入手	インターネット(川の防災情報、水害リスクライン等)にてリアルタイム情報を提供	インターネット(早よ見なっせ球磨川等)にてリアルタイム情報を提供		熊本県統合型防災情報システムで気象情報、雨量・水位情報等を自動提供	気象情報の把握	熊本県統合型防災情報システムでダム貯水位、流入量、放流量等に関する情報を自動提供	
情報収集		気象・海象情報収集(降雨、台風進路、高潮情報の確認)	気象・海象情報収集(降雨、台風進路、高潮情報の確認)	防災情報(気象、降雨、水位、流量情報)の収集・記録・分析 情報収集「管内情報(被害情報)の収集分析」	気象庁、消防庁から気象情報を入手	高齢者等避難の発令状況確認						
その他の対応及び市町村の避難対応	自治体によっては、予防的避難対応を開始(夜間避難を避けるための早期避難対応)	必要に応じて事務所に対して体制の確認及び注意喚起 リエゾン派遣(台風接近時)※特別警報級の恐れがある場合 TEC-FORCE(排水ポンプ車、照明車等)前進配備計画・準備※特別警報級の恐れがある場合	樋門・樋管操作員の連絡体制の確認及び設置(配備) 必要に応じて、緊急内水対策車の派遣	体制の確保	対処方針の検討	管内市町村への注意喚起、連携確認	管内市町村への注意喚起、連携確認					
			堰操作の準備(萩原水位観測所1.00m)	災害対策支部設置(注意体制移行)の判断	管内市町村への注意喚起、連携確認	通信システム、情報連絡網等の再点検	各市町村区と予防的自主避難者に対応する避難所の開設場所確認 消防局等関係機関との連携確認					

球磨川流域(緊急対応)タイムライン詳細表【令和4年度試行運用版】(案)

：熊本地方気象台からの提供情報

段階	流域タイムラインの段階移行の基準			対応目標	市町村タイムラインの基本的な対応行動(骨子)	関係機関の対応行動					
	気象情報(気象台)	河川水位情報(国、県)	土砂災害情報(気象台、県)			国土交通省			熊本県		
						九州地方整備局	八代河川国道事務所	川辺川ダム砂防事務所	県庁	広域本部、地域振興局	市房ダム管理所
流域警戒段階	□球磨川流域内(管内)で、大雨警報(浸水害)や洪水警報が発表されたとき □梅雨末期において大雨の可能性がある場合 □線状降水帯予測の発表(地方気象情報)	□管内河川水位が水防団待機水位を超過したとき	□球磨川流域内(管内)で、大雨警報(土砂災害)が発表されたとき	流域警戒段階へ移行		流域警戒段階への移行について内部周知	流域警戒段階への移行について内部周知	流域警戒段階への移行について内部周知	流域警戒段階への移行について内部周知	流域警戒段階への移行について内部周知	流域警戒段階への移行について内部周知
	★ 気象・水位状況の激変により、氾濫が発生する可能性が高いと判断される場合  非常対応モードへ移行 以降、対応可能な行動を前倒しで実施する			合同記者発表の実施(必要に応じて)		福岡管区気象台との合同記者発表の必要性について検討・協議 (必要と判断した場合)福岡管区気象台と合同記者発表を実施	熊本地方気象台との合同記者発表の必要性について検討・協議 (必要と判断した場合)熊本地方気象台と合同記者発表を実施(八代河川国道事務所または熊本地方気象台で実施)				
				流域タイムラインWeb運用会議の開催		流域タイムラインWeb運用会議実施の必要性を検討 (必要な場合は、八代河川国道事務所へ開催依頼)	流域タイムラインWeb運用会議実施の必要性を検討 流域タイムラインWeb運用会議開催要望の連絡受け付け	流域タイムラインWeb運用会議実施の必要性を検討 (必要な場合は、八代河川国道事務所へ開催依頼)	流域タイムラインWeb運用会議実施の必要性を検討 (必要な場合は、八代河川国道事務所へ開催依頼)		
				流域タイムラインWeb運用会議の開催		流域タイムラインWeb運用会議開催日時の受信	流域タイムラインWeb運用会議開催の有無、開催日時を決定し参加機関へ斉メール	流域タイムラインWeb運用会議開催日時の受信	流域タイムラインWeb運用会議開催日時の受信	流域タイムラインWeb運用会議開催日時の受信	流域タイムラインWeb運用会議開催日時の受信
				流域タイムラインWeb運用会議の開催		流域タイムラインWeb運用会議への参加(会議で以下の情報を提供) ◆九州地方管内の河川情報	流域タイムラインWeb運用会議への参加(会議で以下の情報を提供) ◆球磨川水系国管理区間の河川水位情報(今後の見込みなど)	流域タイムラインWeb運用会議への参加(会議で以下の情報を提供) ◆管内の土砂災害情報	流域タイムラインWeb運用会議への参加(会議で以下の情報を提供) ◆県管理河川の実況情報	流域タイムラインWeb運用会議への参加(会議で以下の情報を提供) ◆県管理河川の実況情報 ◆県管理道路の状況	流域タイムラインWeb運用会議への参加(会議で以下の情報を提供) ◆市房ダムの予備放流や事前放流の現状や今後の予定等
				流域タイムラインWeb運用会議の開催		メーリングリストによる情報共有 市町村タイムラインステージを連絡 ◆九州地方管内の河川情報	必要に応じてメーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆九州地方管内の河川情報 ◆球磨川水系国管理区間の河川水位情報(今後の見込みなど)	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆管内の土砂災害情報	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆県管理河川の実況情報	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆県管理河川の実況情報 ◆県管理道路の状況	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆市房ダムの「洪水調節開始」の通知や現在の状況等の現状や今後の予定等 ◆ダムの貯留状況「貯留能力の半分情報(貯水位EL275.7m超過)」
				Webによる情報提供		各機関のHPにて情報入手 インターネット(川の防災情報、水害リスクライン等)にてリアルタイム情報を提供	インターネット(早よ見なっせ球磨川等)にてリアルタイム情報を提供		熊本県統合型防災情報システムで気象情報、雨量・水位情報等を自動提供	気象情報の把握	熊本県統合型防災情報システムでダム貯水位、流入量、放流量等に関する情報を自動提供
			情報収集		気象・海象情報収集(降雨、台風進路、高潮情報の確認) 事務所管内の災害情報について情報収集	気象・海象情報収集(降雨、台風進路、高潮情報の確認) 流域市町村の災害状況について情報収集	防災情報(気象、降雨、水位、流量情報)の収集・記録・分析 土砂災害警戒情報の確認(熊本県統合型防災情報システム又は気象庁HPで確認) 情報収集「管内情報(被害情報)の収集分析」 関係機関(警察、消防、自衛隊など)との情報交換 砂防モニターからのFAX確認や電話連絡 管内市町村等から、避難情報や災害情報を収集(継続実施) 連続雨量200mmに達する恐れがある場合、球磨地域振興局に通行止め情報を確認 県へ通行規制情報の確認	熊本県統合型防災情報システムで気象情報、雨量・水位情報等を自動提供 気象庁、消防庁から気象情報を入手 避難情報の発令状況の把握 市町村避難所開設状況の把握 高齢者等避難の発令状況確認	管内市町村の避難所開設状況の把握 管内市町村の避難情報の発令状況の把握 管内市町村の避難者数の把握 管内市町村の被害状況等の把握		

球磨川流域(緊急対応)タイムライン詳細表【令和4年度試行運用版】(案)

：熊本地方気象台からの提供情報

段階	流域タイムラインの段階移行の基準			対応目標	市町村タイムラインの基本的な対応行動(骨子)	関係機関の対応行動					
	気象情報 (気象台)	河川水位情報 (国、県)	土砂災害情報 (気象台、県)			国土交通省			熊本県		
						九州地方整備局	八代河川国道事務所	川辺川ダム砂防事務所	県庁	広域本部、地域振興局	市房ダム管理所
流域警戒段階	□球磨川流域内(管内)で大雨警報(浸水害)や洪水警報が発表されたとき □熊本県管理河川の水位が以下に示す水防団待機水位を超過 万江川(万江川) 1.85m (人吉) 胸川(胸川) 1.19m (人吉) 川辺川(県川辺) 3.39m (相良) 湯山川(湯山) 3.00m (水上) □球磨川本川水位が以下に示す水防団待機水位を超過 萩原 1.60m (八代) 大野 5.50m (八代、芦北、球磨) 渡 3.80m (球磨、人吉) 人吉 1.50m (人吉、山江、相良、錦) 一武 2.90m (相良、錦、あさぎり) 多良木 1.60m (あさぎり、多良木、湯前)	□球磨川流域内(管内)で大雨警報(土砂災害)が発表されたとき	土砂災害対応	以下の市町村において、状況に応じて高齢者等避難を発令 ・湯前町 ・錦町 ・球磨村 ・芦北町 ・八代市	九州地方整備局	八代河川国道事務所	川辺川ダム砂防事務所	県庁	広域本部、地域振興局	市房ダム管理所	
		□球磨川本川水位が以下に示す水防団待機水位を超過 萩原 1.60m (八代) 大野 5.50m (八代、芦北、球磨) 渡 3.80m (球磨、人吉) 人吉 1.50m (人吉、山江、相良、錦) 一武 2.90m (相良、錦、あさぎり) 多良木 1.60m (あさぎり、多良木、湯前)	支川氾濫対応		事務所注意体制連絡の受信 気象・海象情報収集(降雨、台風進路、高潮情報の確認)	注意体制の発令(気象情報による体制発令) 注意体制の発令(球磨川堰、新前川堰の操作時、下流への影響が考えられる場合) 堰操作の実施(萩原水位観測所 1.30m) ホットライン等連絡体制確認(首長及び防災担当者) リエゾン派遣に関する確認(適宜、必要な時期に派遣を調整) 球磨川の排水施設運転開始の準備 八代市の陸閉閉操作の準備状況確認 水防警報(待機・準備)(国→県→市町村) 樋門・樋管等の操作委託先(市町村)へ河川情報に関する情報提供 緊急内水対策車の稼働情報の共有	流域市町村の災害状況について情報収集 必要に応じて工事現場への注意喚起(工事看板・重機等)の確認・退避 リエゾン派遣の検討(準備) 警戒体制移行の判断 ホットライン等連絡体制確認(首長及び防災担当者)リエゾン派遣に関する確認(適宜、必要な時期に派遣を調整)	市町村への警戒態勢確保要請 被害状況等の把握	水防警報(待機・準備)発表		
		□球磨川本川水位が以下に示す水防団待機水位を超過 萩原 1.60m (八代) 大野 5.50m (八代、芦北、球磨) 渡 3.80m (球磨、人吉) 人吉 1.50m (人吉、山江、相良、錦) 一武 2.90m (相良、錦、あさぎり) 多良木 1.60m (あさぎり、多良木、湯前)	本川氾濫対応		事務所注意体制連絡の受信 気象・海象情報収集(降雨、台風進路、高潮情報の確認)	注意体制の発令(気象情報による体制発令) 注意体制の発令(球磨川堰、新前川堰の操作時、下流への影響が考えられる場合) 堰操作の実施(萩原水位観測所 1.30m) ホットライン等連絡体制確認(首長及び防災担当者) リエゾン派遣に関する確認(適宜、必要な時期に派遣を調整) 球磨川の排水施設運転開始の準備 八代市の陸閉閉操作の準備状況確認 水防警報(待機・準備)(国→県→市町村) 樋門・樋管等の操作委託先(市町村)へ河川情報に関する情報提供 緊急内水対策車の稼働情報の共有	流域市町村の災害状況について情報収集 必要に応じて工事現場への注意喚起(工事看板・重機等)の確認・退避 リエゾン派遣の検討(準備) 警戒体制移行の判断 ホットライン等連絡体制確認(首長及び防災担当者)リエゾン派遣に関する確認(適宜、必要な時期に派遣を調整)	市町村への警戒態勢確保要請 被害状況等の把握	水防警報(待機・準備)発表		

球磨川流域(緊急対応)タイムライン詳細表【令和4年度試行運用版】(案)

：熊本地方気象台からの提供情報

段階	流域タイムラインの段階移行の基準			対応目標	市町村タイムラインの基本的な対応行動(骨子)	関係機関の対応行動						
	気象情報(気象台)	河川水位情報(国、県)	土砂災害情報(気象台、県)			国土交通省			熊本県			
						九州地方整備局	八代河川国道事務所	川辺川ダム砂防事務所	県庁	広域本部、地域振興局	市房ダム管理所	
早期避難段階		□管内河川水位が 氾濫注意 水位を超過し、さらに上昇が予想されるとき		早期避難段階へ移行		早期避難段階への移行について内部周知	早期避難段階への移行について内部周知	早期避難段階への移行について内部周知	早期避難段階への移行について内部周知	早期避難段階への移行について内部周知	早期避難段階への移行について内部周知	早期避難段階への移行について内部周知
				合同記者発表の実施(必要に応じて)	福岡管区気象台との合同記者発表の必要性について検討・協議 (必要と判断した場合) 福岡管区気象台と合同記者発表を実施	熊本地方気象台との合同記者発表の必要性について検討・協議 (必要と判断した場合) 熊本地方気象台と合同記者発表を実施(八代河川国道事務所または熊本地方気象台で実施)						
				メーリングリストによる情報共有	メーリングリストによる情報共有(以下の必要に応じ情報を発信) ◆九州地方管内の河川情報	メーリングリストによる情報共有(以下の必要に応じ情報を発信) ◆球磨川水系国管理区間の河川水位情報(今後の見込みなど)	メーリングリストによる情報共有(以下の必要に応じ情報を発信) ◆管内の土砂災害情報	メーリングリストによる情報共有(以下の必要に応じ情報を発信) ◆県管理河川の実況情報	メーリングリストによる情報共有(以下の必要に応じ情報を発信) ◆県管理河川の実況情報 ◆県管理道路の状況	メーリングリストによる情報共有(以下の必要に応じ情報を発信) ◆市房ダムの「洪水調節開始」の通知や現在の状況等の現状や今後の予定等 ◆ダムの貯留状況「貯留能力の半分情報(貯水位EL275.7m超過)」		
				Webによる情報提供	各機関のHPにて情報入手 インターネット(川の防災情報、水害リスクライン等)にてリアルタイム情報を提供	インターネット(早よ見なっせ球磨川等)にてリアルタイム情報を提供		熊本県統合型防災情報システムで気象情報、雨量・水位情報等を自動提供	気象情報の把握	熊本県統合型防災情報システムでダム貯水位、流入量、放流量等に関する情報を自動提供		
				情報収集	気象・海象情報収集(降雨、台風進路、高潮情報の確認) 市房ダム放流状況と放流見込みの聞き取り	気象・海象情報収集(降雨、台風進路、高潮情報の確認) 市町村へ内水状況の確認	防災情報(気象、降雨、水位、流量情報)の収集・記録・分析 土砂災害警戒情報の確認(熊本県統合型防災情報システム又は気象庁HPで確認) 情報収集「管内情報(被害情報)の収集分析」 連続雨量200mmに達する恐れがある場合、球磨地域振興局に通行止め情報を確認 管内市町村等から、避難情報(自主避難、避難勧告、避難指示)の情報を収集 砂防モニターからのFAX確認 管内市町村の被害状況や対応状況の確認 県へ通行規制情報の確認	熊本県統合型防災情報システムで気象情報、雨量・水位情報等を自動提供 気象庁、消防庁から気象情報を入手 避難指示の発令状況の確認 九地整、自衛隊等LO派遣受入の検討・準備 市町村へのLO派遣の検討、準備	管内市町村の避難所開設状況の把握 管内市町村の避難情報の発令状況の把握 管内市町村の避難者数の把握 管内市町村の被害状況等の把握			

球磨川流域(緊急対応)タイムライン詳細表【令和4年度試行運用版】(案)

：熊本地方気象台からの提供情報

段階	流域タイムラインの段階移行の基準			対応目標	市町村タイムラインの基本的な対応行動(骨子)	関係機関の対応行動					
	気象情報 (気象台)	河川水位情報 (国、県)	土砂災害情報 (気象台、県)			国土交通省			熊本県		
						九州地方整備局	八代河川国道事務所	川辺川ダム砂防事務所	県庁	広域本部、地域振興局	市房ダム管理所
早期避難段階				土砂災害対応	全市町村において、高齢者等避難を発令 以下の市町村においては、状況に応じて避難指示を発令 ・球磨村 ・八代市 以下の市町村においては、状況に応じて災害対策本部を設置 ・多良木町 ・球磨村 ・八代市			警戒体制への移行 ホットラインによる市町村(首長)への情報提供 現地情報連絡班(リエゾン)を派遣 大規模土砂災害発生の情報が入った場合、非常体制移行の判断		市町村首長へのホットライン(土砂災害警戒情報発表)	
		□熊本県管理河川の水位が以下に示す氾濫注意水位を超過 万江川(万江川) 2.61m (人吉) 胸川(胸川) 2.04m (人吉) 川辺川(県川辺) 3.82m (相良) 湯山川(湯山) 4.79m (水上)		支川氾濫対応						水防警報(出動)発表	
		□球磨川本川水位が以下に示す氾濫注意水位を超過 萩原 2.00m (八代) 大野 6.50m (八代、芦北、球磨) 渡 5.00m (球磨、人吉) 人吉 2.00m (人吉、山江、相良、錦) 一武 3.50m (相良、錦、あさぎり) 多良木 2.00m (あさぎり、多良木、湯前)		本川氾濫対応		注意体制の発令 事務所から河川巡視で確認された被害情報を確認 リエゾン派遣の調整	警戒体制の発令 洪水予報(氾濫注意情報)関係機関に周知 水防警報(出動)(国→県→市町村) 河川巡視で確認された被害情報を市町村及び本局へ連絡 リエゾン派遣の調整				

球磨川流域(緊急対応)タイムライン詳細表【令和4年度試行運用版】(案)

：熊本地方気象台からの提供情報

段階	流域タイムラインの段階移行の基準			対応目標	市町村タイムラインの基本的な対応行動(骨子)	関係機関の対応行動					
	気象情報(気象台)	河川水位情報(国、県)	土砂災害情報(気象台、県)			国土交通省			熊本県		
						九州地方整備局	八代河川国道事務所	川辺川ダム砂防事務所	県庁	広域本部、地域振興局	市房ダム管理所
避難段階	<p>□顕著な大雨に関する気象情報(線状降水帯等の情報)が発表されたとき</p> <p>□管内河川水位が避難判断水位を超過し、さらに上昇が予想される時</p> <p>□球磨川流域内(管内)で土砂災害警戒情報が発表されたとき</p>			避難段階へ移行		避難段階への移行について内部周知	避難段階への移行について内部周知	避難段階への移行について内部周知	避難段階への移行について内部周知	避難段階への移行について内部周知	避難段階への移行について内部周知
				合同記者発表の実施(必要に応じて)		福岡管区気象台との合同記者発表の必要性について検討・協議 (必要と判断した場合) 福岡管区気象台と合同記者発表を実施	熊本地方気象台との合同記者発表の必要性について検討・協議 (必要と判断した場合) 熊本地方気象台と合同記者発表を実施(八代河川国道事務所または熊本地方気象台で実施)				
				メーリングリストによる情報共有	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆九州地方管内の河川情報	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆球磨川水系国管理区間の河川水位情報(今後の見込みなど)	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆管内の土砂災害情報	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆県管理河川の実況情報	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆県管理河川の実況情報 ◆県管理道路の状況	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆市房ダムの「緊急放流予告」の通知や現在の状況等 ◆ダムの貯留状況「貯留能力の半分情報(貯水位EL275.7m超過)」	
				Webによる情報提供	各機関のHPにて情報入手	インターネット(川の防災情報、水害リスクライン等)にてリアルタイム情報を提供	インターネット(早よ見なっせ球磨川等)にてリアルタイム情報を提供		熊本県統合型防災情報システムで気象情報、雨量・水位情報等を自動提供	気象情報の把握	熊本県統合型防災情報システムでダム貯水位、流入量、放流量等に関する情報を自動提供
			情報収集	<p>気象・海象情報収集(降雨、台風進路、高潮情報の確認)</p> <p>事務所管内の被害情報等の把握</p> <p>市房ダム放流状況と放流見込みの聞き取り</p>	<p>気象・海象情報収集(降雨、台風進路、高潮情報の確認)</p> <p>堤防等の河川管理施設の被害、内水や市町村の避難・被害、水防団の活動状況の情報収集</p>	<p>防災情報(気象、降雨、水位、流量情報)の収集・記録・分析</p> <p>土砂災害警戒情報の確認(熊本県統合型防災情報システム又は気象庁HPで確認)</p> <p>情報収集「管内情報(被害情報)の収集分析」</p> <p>連続雨量200mmに達する恐れがある場合、球磨地域振興局に通行止め情報を確認</p> <p>管内市町村の被害状況や対応状況の確認</p> <p>管内市町村等から、避難情報(自主避難、避難勧告、避難指示)の情報を収集</p> <p>県へ通行規制情報の確認</p> <p>砂防モニターからのFAX確認</p> <p>管内市町村等から、避難情報(自主避難、避難勧告、避難指示)の情報を収集</p>	<p>熊本県統合型防災情報システムで気象情報、雨量・水位情報等を自動提供</p> <p>気象庁、消防庁から気象情報を入手</p> <p>熊本県統合型防災情報システムで気象情報、雨量・水位情報等を自動提供</p> <p>被害状況等の把握</p>	<p>管内市町村の被害状況等の把握</p> <p>管内市町村の避難所開設状況の把握</p> <p>管内市町村の避難情報の発令状況の把握</p>			

球磨川流域(緊急対応)タイムライン詳細表【令和4年度試行運用版】(案)

：熊本地方気象台からの提供情報

段階	流域タイムラインの段階移行の基準			対応目標	市町村タイムラインの基本的な対応行動(骨子)	関係機関の対応行動					
	気象情報(気象台)	河川水位情報(国、県)	土砂災害情報(気象台、県)			国土交通省			熊本県		
						九州地方整備局	八代河川国道事務所	川辺川ダム砂防事務所	県庁	広域本部、地域振興局	市房ダム管理所
避難段階			□球磨川流域内(管内)で土砂災害警戒情報が発表されたとき	土砂災害対応	全市町村において、避難指示を発令 ほぼ全市町村において災害対策本部を設置			ホットラインによる市町村(首長)への情報提供 現地情報連絡班(リエゾン)を派遣 大規模土砂災害発生の情報が入った場合、非常体制移行の判断			
		□熊本県管理河川の水位が以下に示す避難判断水位を超過 万江川(万江川) 2.61m(人吉) 胸川(胸川) 2.39m(人吉) 川辺川(県川辺) 3.82m(相良) 湯山川(湯山) 6.40m(水上)		支川氾濫対応					報道機関への避難判断水位超過情報発表	水防警報(警戒)発表	
		□球磨川本川水位が以下に示す避難判断水位を超過 萩原 3.50m(八代) 大野 8.00m(八代、芦北、球磨) 渡 6.00m(球磨、人吉) 人吉 3.00m(人吉、山江、相良、錦) 一武 4.30m(相良、錦、あさぎり) 多良木 3.50m(あさぎり、多良木、湯前)		本川氾濫対応			警戒体制の発令 洪水予報(氾濫警戒情報) 関係機関に周知 洪水予報(氾濫警戒情報)を確認 水防警報(警戒)(国→県→市町村) ホットライン情報の確認 ホットライン(避難判断水位到達)(首長及び防災担当者) 本省報告(危険箇所)の状況 ホットライン(漏水・浸食情報)(首長及び防災担当者) 樋門・樋管操作状況の情報共有(操作員の避難状況も併せて確認)				

球磨川流域(緊急対応)タイムライン詳細表【令和4年度試行運用版】(案)

：熊本地方気象台からの提供情報

段階	流域タイムラインの段階移行の基準			対応目標	市町村タイムラインの基本的な対応行動(骨子)	関係機関の対応行動					
	気象情報(気象台)	河川水位情報(国、県)	土砂災害情報(気象台、県)			国土交通省			熊本県		
						九州地方整備局	八代河川国道事務所	川辺川ダム砂防事務所	県庁	広域本部、地域振興局	市房ダム管理所
避難完了段階	□球磨川流域内(管内)で、大雨特別警報が発表されたとき □記録的短時間大雨情報が発表されたとき	□管内河川水位が氾濫危険水位を超過し、さらに上昇が予想される時		避難完了段階へ移行		避難完了段階への移行について内部周知	避難完了段階への移行について内部周知	避難完了段階への移行について内部周知	避難完了段階への移行について内部周知	避難完了段階への移行について内部周知	避難完了段階への移行について内部周知
				合同記者発表の実施(必要に応じて)		福岡管区気象台との合同記者発表の必要性について検討・協議 (必要と判断した場合)福岡管区気象台と合同記者発表を実施	熊本地方気象台との合同記者発表の必要性について検討・協議 (必要と判断した場合)熊本地方気象台と合同記者発表を実施(八代河川国道事務所または熊本地方気象台で実施)				
				メーリングリストによる情報共有 市町村タイムラインステージを連絡	必要に応じメーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆九州地方管内の河川情報	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆球磨川水系国管理区間の河川水位情報(今後の見込みなど)	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆管内の土砂災害情報	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆県管理河川の実況情報	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆県管理河川の実況情報 ◆県管理道路の状況	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆市房ダムの「緊急放流開始」の通知や現在の状況等	
				各機関のHPにて情報入手	インターネット(川の防災情報、水害リスクライン等)にてリアルタイム情報を提供	インターネット(早見なっせ球磨川等)にてリアルタイム情報を提供		熊本県統合型防災情報システムで気象情報、雨量・水位情報等を自動提供	気象情報の把握	熊本県統合型防災情報システムでダム貯水位、流入量、放流量等に関する情報を自動提供	
				情報収集	事務所管内の被害情報等の把握 市房ダム放流状況と放流見込みの聞き取り	堤防等の河川管理施設の被害、内水や市町村の避難・被害、水防団の活動状況の情報収集	防災情報(気象、降雨、水位、流量情報)の収集・記録・分析 土砂災害警戒情報の確認(熊本県統合型防災情報システム又は気象庁HPで確認) 情報収集「管内情報(被害情報)の収集分析」 連続雨量200mmに達する恐れがある場合、球磨地域振興局に連絡を取り、通行止め情報を確認 管内市町村の被害状況や対応状況の確認 管内市町村等から、避難情報(自主避難、避難勧告、避難指示)の情報を収集 県へ通行規制情報の確認 砂防モニターからのFAX確認	被害状況等の把握	緊急安全確保の発令状況の確認	管内市町村の避難所開設状況の把握	管内市町村の避難情報の発令状況の把握

球磨川流域(緊急対応)タイムライン詳細表【令和4年度試行運用版】(案)

：熊本地方気象台からの提供情報

段階	流域タイムラインの段階移行の基準			対応目標	市町村タイムラインの基本的な対応行動(骨子)	関係機関の対応行動							
	気象情報 (気象台)	河川水位情報 (国、県)	土砂災害情報 (気象台、県)			国土交通省			熊本県				
						九州地方整備局	八代河川国道事務所	川辺川ダム砂防事務所	県庁	広域本部、地域振興局	市房ダム管理所		
避難完了段階		□熊本県管理河川の水位が以下に示す 氾濫危険水位 を超過 万江川(万江川) 3.08m (人吉) 胸川(胸川) 2.66m (人吉) 川辺川(県川辺) 4.00m (相良) 湯山川(湯山) 7.08m (水上)		土砂災害対応		警戒体制の発令(大雨特別警報が発令された場合)		ホットラインによる市町村(首長)への情報提供		管内市町村への大雨特別警報・記録的短時間大雨情報が発令された旨の伝達			
						土砂災害に関する情報収集		現地情報連絡班(リエゾン)を派遣					
						注意体制の発令						報道機関への氾濫危険水位超過情報発表	水防警報(嚴重警戒)発表 市町村長へのホットライン(氾濫危険水位到達)
						支川氾濫に関する情報収集							
						非常体制の発令(重大な災害が発生する恐れがある場合)	非常体制の発令(職員は全員勤務体制に入る)						
						洪水予報(氾濫危険情報)を確認	洪水予報(氾濫危険情報)を関係機関へ周知						
	□球磨川本川水位が以下に示す 氾濫危険水位 を超過 萩原 4.40m (八代) 大野 10.90m (八代、芦北、球磨) 渡 7.60m (球磨、人吉) 人吉 3.20m (人吉、山江、相良、錦) 一武 4.40m (相良、錦、あさぎり) 多良木 3.50m (あさぎり、多良木、湯前)		本川氾濫対応		ホットライン情報の確認	樋門・樋管操作員への退避指示							
					排水機場運転調整(停止)開始準備水位到達の通知								
					排水機場運転調整(停止)開始水位到達の通知								
						ホットライン(氾濫危険水位到達)(首長及び防災担当者)							

球磨川流域(緊急対応)タイムライン詳細表【令和4年度試行運用版】(案)

：熊本地方気象台からの提供情報

段階	流域タイムラインの段階移行の基準			対応目標	市町村タイムラインの基本的な対応行動(骨子)	関係機関の対応行動					
	気象情報(気象台)	河川水位情報(国、県)	土砂災害情報(気象台、県)			国土交通省			熊本県		
						九州地方整備局	八代河川国道事務所	川辺川ダム砂防事務所	県庁	広域本部、地域振興局	市房ダム管理所
災害発生											
緊急対応段階	○洪水による災害が発生した場合	○土砂災害が発生した場合	→ 緊急対応段階へ移行	避難対応段階への移行(災害発生)について内部周知	避難対応段階への移行(災害発生)について内部周知	避難対応段階への移行(災害発生)について内部周知	避難対応段階への移行(災害発生)について内部周知	避難対応段階への移行(災害発生)について内部周知	避難対応段階への移行(災害発生)について内部周知	避難対応段階への移行(災害発生)について内部周知	避難対応段階への移行(災害発生)について内部周知
			合同記者発表の実施(必要に応じて)	福岡管区気象台との合同記者発表の必要性について検討・協議 (必要と判断した場合) 福岡管区気象台と合同記者発表を実施	熊本地方気象台との合同記者発表の必要性について検討・協議 (必要と判断した場合) 熊本地方気象台と合同記者発表を実施(八代河川国道事務所または熊本地方気象台で実施)						
			メーリングリストによる情報共有	必要に応じメーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆九州地方管内の河川情報	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆球磨川水系国管理区間の河川水位情報(今後の見込みなど)	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆管内の土砂災害情報	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆県管理河川の実況情報	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆県管理河川の実況情報 ◆県管理道路の状況	メーリングリストによる情報共有(以下の情報を発信) ◆市房ダムの「緊急放流開始」の通知や現在の状況等		
			Webによる情報提供	インターネット(川の防災情報、水害リスクライン等)にてリアルタイム情報を提供	インターネット(早よ見なせ球磨川等)にてリアルタイム情報を提供		熊本県統合型防災情報システムで気象情報、雨量・水位情報等を自動提供	気象情報の把握			
			情報収集	被害状況の把握(ヘリコプター等による迅速な状況把握) 事務所管内の被害情報等の把握 市房ダム放流状況と放流見込みの聞き取り	堤防等の河川管理施設の被害、内水や市町村の避難・被害、水防団の活動状況の情報収集	管内市町村の対応状況の確認	熊本県統合型防災情報システムで気象情報、雨量・水位情報等を自動提供 気象庁、消防庁から気象情報を入手 被害状況等の把握 緊急消防援助隊の要請 自衛隊災害派遣要請の検討 各種応援協定等に基づく応援要請の検討	管内市町村の被害状況等の把握 管内市町村の避難所開設状況の把握 管内市町村の避難情報の発令状況の把握			
緊急対応段階	□土砂災害発生	→ 土砂災害発生	→ 土砂災害対応	非常体制の発令(重大な被害が発生した場合) 土砂災害に関する被害情報の把握	非常体制への移行(大規模土砂災害発生の場合) 現地対策本部設置場所の検討及び局への報告 現地対策本部の応援要員の招集及び応援体制の局への報告 事務所に、TEC-FORCEの応援対策支部を設置 事務所に災害支援支部を設置 ホットラインによる市町村(首長)への情報提供及び被害状況の確認 必要に応じて現地情報連絡班(リエゾン)を追加派遣 大規模土砂災害の予備調査開始(以降、本調査や監視へ移行)						
			支川氾濫対応	支川氾濫に関する被害状況の把握			報道機関への氾濫発生情報発表	氾濫発生情報発表 市町村長へのホットライン(氾濫発生)			
			本川氾濫対応	非常体制 洪水予報(氾濫発生情報)の確認 ホットライン情報の確認 TEC-FORCE派遣 リエゾン派遣(追加) 本省報告(被害情報、緊急復旧状況)	洪水予報(氾濫発生情報) 関係機関へ周知 災害応援・災害対策機械等の要請・出動・受け入れ 現地対策支部の設置 排水機場運転調整(停止)指示(排水機場付近の堤防等被災による) ホットライン(氾濫発生・堤防決壊)(首長及び防災担当者) TEC-FORCEの受け入れ 緊急復旧着手			自衛隊へ災害派遣要請			
				□県河川(支川)で氾濫発生							
	□球磨川本川で氾濫発生										